荒城の月

本調子

中	
乙	
中	
乙	
五	
中	
六	
中	
七	
中	
六	
中	
五	
中	
乙	
○	

尺	
中	
上	
老	
中	
四	
乙	
中	
乙	
○	
乙	
○	
四	
○	
上	
○	

中	は
乙	る
中	こ
乙	う
五	ろ
中	の
六	う
中	の
七	
中	
六	
中	
五	
中	
乙	
中	

尺	は
上	な
尺	の
上	え
中	ん
四	
上	
#上	
中	
○	
老	
○	
四	
○	
上	
○	

中	め
乙	ぐ
中	る
乙	
五	さ
中	
六	か
中	
七	づ
中	
六	き
中	
五	
中	
乙	
中	

尺	か
中	
上	げ
老	
中	さ
四	
老	
中	し
乙	て
○	
乙	
○	
中	
○	
乙	
○	

四	ち
乙	
四	よ
乙	
老	の
上	
乙	ま
上	
尺	っ
四	
乙	が
尺	え
中	
乙	
老	
乙	

上	わ
乙	
中	け
乙	
尺	い
乙	
上	
尺	で
中	し
○	
乙	
老	
四	
上	
中	
尺	

中	む
乙	
中	か
乙	
五	し
中	
六	の
中	
七	ひ
中	
六	か
中	
五	り
中	
乙	
中	

尺	い
中	
上	ま
老	
中	い
四	
老	
中	ず
五	こ
○	
老	
○	
四	
○	
上	
○	

中	
乙	
中	
乙	
五	
中	
六	
中	
五	
○	
中	
上	
四	
#合	
乙	
○	

荒城の月

本調子

一、春高楼（こうろう）の　花の宴（えん）
巡る盃（さかづき）　影さして
千代の松が枝（え）　分け出でし
昔の光　今いずこ

二、秋陣営の霜の色
鳴きゆく雁（かり）の数見せて
植うる剣（つるぎ）に照り沿いし
昔の光　今いずこ

三、今荒城の　夜半（よわ）の月
変わらぬ光　誰（た）がためぞ
垣に残るは　ただ葛（かずら）
松に歌う（うとう）は　ただ嵐

四、天上影は　変わらねど
栄枯（えいこ）は移る　世の姿
映さんとてか　今も尚
ああ荒城の夜半の月